

## 2018・小学校低学年「なずずこのっぺ？」

この本をえらんだりゆうは、だからです。

この本にはたくさんの虫たちが出てきます。虫たちは、虫だけがわかる虫のことばをはなします。

私ははじめ、だと思いました。

この本の題名の「なずずこのっぺ？」は、を見たときに言った言葉です。

たぶん、「」といういみだと思いました。

さいしょは、虫たちのことばがわからなかったけど、本をよんでいるうちに  
だと思いました。

虫たちがみつけた芽がどんどんおおきくなっていきます。私はの場面が  
いちばん好きです。なぜなら、だからです。

みんなで大きくそだった花をひみつきちのようにしていきます。私ならひみつきちで、  
したいと思いました。

みんなでたのしんでいたひみつきちにいじわるなクモがやってきます。  
そのときみんなが言った「ムクジャランカ！」ということばは、「  
」といういみじゃないかと思いました。

いじわるなクモはいなくなり、花が咲きます。みんなおよろこびして、私も  
というきもちになりました。

そのときみんなが言った「ルンバボン！」ということばは、きっと「  
」といういみじゃないかと思いました。

花はかれてしまいます。雪がふって、だれもいなくなってしまいます。私は  
というきもちになりました。

でも、雪がとけるとかれたはずの花のあったところに、あたらしい芽が出てきます。それを見つけた虫が  
「なずずこのっぺ？」といいました。きっとまた花がさいてすてきなひみつきちをつくることができると思います。

この本は虫だけがわかる虫のことばでかかれています。よんでも何がかいてあるかわかりません。でも、  
ということはわかりました。

ことばはわからなくても、虫たちの楽しそうなようすやうれしいきもちはわかりました。この本をよんで、  
だと思いました。